

# 令和7年度 陵ヶ岡小学校の教育

## 1. 学校教育目標

自ら探究し、つながり合い、未来を拓く陵ヶ岡の子  
～探究力・人間力・自分力(3 Motto)を育む陵ヶ岡教育の創造～

## 2. 花山ブロック小中一貫目標

自ら未来を切り拓き、地域・社会と共に歩む子どもの育成

## 3. めざす児童像

「探究力」「人間力」「自分力」  
“3 Motto”で未来を自分で切り拓く児童

### 探 究 力

～ふかめる子～

- 主体的に学び探究し、対話を通じた協働で、深い学びを実現する。
- 言語活動を充実し、基礎学力を定着させる。
- 自分の学びと社会とのかかわりを繋ぎ、活用する。
- 数学的思考力・情報活用能力・実践的英語力を伸ばす。
- 学校図書館を活用し、読書活動を促進する。

### 人 間 力

～つながる子～

- 規範意識を高くもち「主体的」に行動する。
- 友達との関わりの中で、互いの「生き方」の違いを認め合い、協働し「自立」する。
- 好ましい人間関係を形成するために、他人の立場を「想像」し、感情を分かち合う能力を身に付ける。
- 「いじめ」に気づき、許さない心をもつ。
- 地域と自分とのつながりを見つけ、地域の一員として積極的に地域に関わろうとする。

### 自 分 力

～かがやく子～

- 自分で決定する力を持ち、自分の未来を主体的に切り拓く。
- 自分の役割見つけて、みんなのために働くたくましい心をもつ。
- 自ら判断して、学校や地域での危険を予測し、命を守る適切な行動ができる。
- 基本的な生活習慣を身に付け、健康に過ごすために進んで運動する。
- 心身の健やかな成長を阻害する事柄について正しい知識を持ち、自分で判断して毅然とした態度で身を守る。

## 「育成を目指す資質・能力」の具体化

- 探究力…自ら課題を見つけ探究する力、「自分の学び」と「他者や地域、教科の知識・技能を「つなぎ」創造する力、すべてを支える言語能力
- 人間力…「ゆるやかな協働」の中で助け合いながら「自立」する力、相手の立場を「想像」し感情を分かち合う能力、合意形成する力
- 自分力…「自己決定」する力、自分の将来を拓く力（キャリア）、友達も自分も大切にする力（自尊感情）、自分の活動を自分で理解し律する力（メタ認知・自己有用感・自己指導能力）

#### 4. めざす教職員像

一人一人が「主体的」学校運営にかかわり、  
進んで学校改革、授業改善に取り組む教職員

##### ～陵ヶ岡のチーム力を高めるために～

- 信頼できる大人としてのモデルを児童に示す。
- 「主体的」に学校運営に取り組み、自ら発信しマネジメントする。
- 常に人権感覚を磨き、一人一人を徹底的に大切にし、児童の自尊感情を高める取組を実践する。
- 3Mottoを授業改善の柱として、深い学びを目指した取組を進める。
- 「中学校ブロック連携教育」を目指し、9年間の「学力」形成のために協働する。
- 持続可能な「幼保小の連携・接続」の取組を進め、1年生が安心して小学校生活に適應できる。
- 保護者や地域と協働・連携し、信頼される教育活動を進める。
- 「自己指導能力」を養い、日常的に危険を予測し、児童の安全と安心を確保できる行動をとる。
- すべての取組において指導の徹底と継続な支援を行う。

#### 5. めざす学校像

児童が互いの違いを認め合い、自らの行動を自分で判断し、  
自分の未来を自分で切り拓く確かな「学力」を追究する学校

- 「児童が『わくわく』する学校」
  - ・主体的に学び探究する喜びや価値を感じる「授業」がある。
  - ・協働を通して学び合い、高め合う「学びの集団」がある。
  - ・児童の特性に応じた指導や支援の充実をはかる。
  - ・「幼保小の連携・接続」を進め、児童が安心できる環境を創り出す。
  - ・一人一人が力を発揮し、認められる場がある。(自己有用感・自尊感情)
- 「保護者が通わせたいと思う学校」
  - ・保護者の思いや願いを常に汲み取り、実践に活かす。
  - ・児童の命と人権を守り切り、一人一人を徹底的に大切にしている。
  - ・確かな「学力」の向上と家庭と連携した学習の取組がある。
- 「教職員が生き生きと働く学校」
  - ・教職員の多様性を認め合い、お互いに理解しようとする同僚性をもつ。
  - ・全ての教職員がリーダーとなり、それぞれの立場や役割で十分に力を発揮する。
  - ・全ての教職員が「同じ目線」をもち、「同じ路線」で児童を導く。
  - ・常に情熱をもち、協働して教育活動を推進する。
- 「地域が応援したいと思う学校」
  - ・「地域の児童は地域で育つ」：児童と地域の「つながり」を常に意識する。
  - ・学習ボランティアスタッフ(RSST)と連携し、教育活動の充実を図る。
  - ・規範意識を高くもち、気持ちのよいあいさつや感謝の気持ちを伝える。
  - ・地域を思い、地域の未来を考えた児童の取組を地域に発信する。
- 「中学校ブロックでつながり合い共に学んでいく学校」
  - ・「小小連携」「小中連携」を推進し、教職員も児童たちも地域の一員としてつながりあう。(3校一体型「学校運営協議会」)
  - ・教職員の交流、児童・生徒の交流活動を創造し、「学力向上」に向けて協働して実践を進めていく。
  - ・小中連携学校運営協議会「花山プロジェクト」での協議内容をもとに、花山中学校ブロックの児童生徒の9年間を見通した学びや育ちについて3校で連携した取組を推進する。